（プログラマのサンプル)

職 務 経 歴 書

20xx年xx月xx日現在

氏名　○○ ○○

■職務要約

株式会社○○○○○に入社後、約x年間プログラマとして業務システム開発に従事しています。生産管理システムや売上管理システムの開発を担当。同時に約x名のマネジメントも行ってきました。また、設計フェーズにも携わり、顧客折衝を担当。プログラミングの知識を活かし、プロジェクト初期段階からシステム構築の詳細を顧客に説明することで導入後の満足度向上に貢献しています。

■活かせる経験・知識・技術

・電気工学を専攻

・Javaによるシステム開発

・約x名規模のプロジェクトリーダー、サブリーダーを経験

・製造業界の業務知識

■職務経歴

|  |
| --- |
| 20xx年xx月～現在　　株式会社○○○○○ |
| 事業内容：業務システム開発資本金：x千万円（20xx年xx月）売上高：x億x千万円（20xx年xx月）従業員数：xxx人　上場：未上場 | 正社員として勤務 |
| 20xx年xx月～現在　／　製造業界　生産管理システムの開発 | 開発環境 | 規模 |
| 【プロジェクト概要】Excelで行っていた生産管理をシステム導入により高速化し、業務効率化を実現。【担当フェーズ】詳細設計、開発、テスト、運用保守【業務内容】・設計段階での顧客折衝・開発からテストまでのスケジュール、進捗管理・テスト設計、管理・運用、保守メンテナンス【実績・取り組み】・設計フェーズで顧客先に同行し、システムの説明も担当。開発として直接ヒアリングし、その場でシステム構築の方向性を決めることで、円滑な設計を進めることに貢献しました。 | 【言語】JavaHTML5【OS】LinuxWindows【DB】Oracle【フレームワーク】Spring Framework | 全x名リーダー |
| 20xx年xx月～20xx年xx月　／　製造業界　売上管理システムの統合 | 開発環境 | 規模 |
| 【プロジェクト概要】人件費管理システムと会計・販売管理システムを統合し、原価管理を効率化。【担当フェーズ】開発、テスト、運用保守【業務内容】・スケジュール管理、進捗管理・プログラムコーディング・テスト設計・単体テスト、結合テストの実施・保守メンテナンス【実績・取り組み】・サブリーダーとしてプロジェクトに参加し、新入社員のOJT研修担当を務めました。x名のメンバーに作業を指導し、スキル向上に貢献。 | 【言語】Java、C++【OS】Windows【DB】SQL Server【フレームワーク】Spring Framework | 全x名サブリーダー |
| 20xx年xx月～20xx年xx月　／　アパレル業界　販売管理システム開発 | 開発環境 | 規模 |
| 【プロジェクト概要】各店舗やオンライン上の販売状況などを統合し、受発注のワークフローにかかる工数やデータ統合の工数を削減。【担当フェーズ】開発、テスト、運用保守【業務内容】・プログラムコーディング・単体テスト、結合テストの実施・保守メンテナンス・顧客からの問い合わせ、トラブル対応【実績・取り組み】・必要な作業と工数を明確に分類し、作業ごとに期限を切ってスケジュールを立てることで、遅延することなく納品することができました。 | 【言語】PHPJavaScript【OS】SolarisWindows【DB】Oracle【フレームワーク】Spring Framework | 全x名メンバー |

■テクニカルスキル

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種類 | 使用期間 | レベル |
| OS | Windows | x年xカ月 | 環境設計・構築が可能 |
| Linux | x年xカ月 | 環境設計・構築が可能 |
| Solaris | x年xカ月 | 環境設計・構築が可能 |
| 言語 | PHP | x年xカ月 | 最適なコード記述と、指示、改修が可能 |
| Java | x年xカ月 | 最適なコード記述と、指示、改修が可能 |
| JavaScript | x年xカ月 | 最適なコード記述と、指示、改修が可能 |
| C++ | x年xカ月 | 基本的なプログラミングが可能 |
| HTML5 | x年xカ月 | 基本的なプログラミングが可能 |
| DB | SQL Server | x年xカ月 | 基本的な環境構築が可能 |
| Oracle | x年xカ月 | 基本的な環境構築が可能 |

■資格

|  |  |
| --- | --- |
| 普通自動車第一種運転免許 | 20xx年xx月取得 |
| 基本情報技術者試験 | 20xx年xx月合格 |
| 応用情報技術者試験 | 20xx年xx月合格 |

■自己PR

＜プログラミングの知識を活かした顧客折衝力＞

プログラマとして、システム構築のためのプログラミングを担当していますが、仕様設計の段階で顧客との打ち合わせに同席し、導入システムについて説明しました。プログラミング担当者が直接ヒアリングを行い、システム構築の方向性を顧客と折衝することで、設計フェーズを円滑に進められています。また、初期段階で詳しいイメージを伝えられるため、導入後の顧客満足度の向上に貢献しました。

＜新入社員のスキルを向上させるマネジメント力＞

これまでプロジェクトにおいてサブリーダーやリーダーを任され、スケジュール管理だけでなくメンバーのスキルアップにも努めてきました。幅広い知識を身につけてもらうことを目的とし、メンバーをそれぞれ経験のないプロジェクトにアサインして随時フォローに入っています。また、新入社員向けのプログラミング勉強会を定期的に開いて講師を担当するなど、開発チーム全体の知識向上を導き、システム開発部門の品質担保に貢献しています。

以上